

考える

挨拶と振り返り▶



振り返る

◀話し合い活動1

袋井幸浦の丘 プロジェクト WORKSHOP

ニュースレター第4号

幸浦に思いを巡らせながら
新しいイベントを企画する
企画体験型ワークショップ。

考察する

話し合い活動3▶



発表する

◀グループで出た意見の共有



第4回「秋祭りの振り返りとこれからのワークショップ」

平成31年1月27日に幸浦コミュニティーセンターにて、「袋井幸浦の丘プロジェクトワークショップ2018」の第4回目が行われました。

今年度のワークショップでは静岡文化芸術大学の学生が運営を務め、目的を「イベントを企画し実行する」とし実際に11月18日に「幸浦の丘秋祭り」を行いました。

第4回目ワークショップでは「幸浦の丘秋祭り」の振り返りを行いながら来年度以降を見通した、防潮堤利活用のためのワークショップの行く先について考えていただきました。

話し合い活動1・2では第3回をグループで振り返りながら良かった点・悪かった点・来年度の地域のイベント日程について書きだしていただきました。来年度は広告を増やしつつもっと地域の方を巻き込んで展開して行きたいと思います。

話し合い活動3では話し合い活動1・2を反映させる形で防潮堤利活用の企画の再提案を行っていただきました。一度「実際にやってみる」ことを体験したうえでの話あいは、実現性を重視しつつもステップアップにつながる提案が多く出ていた印象でした。

今回の話し合いででたご意見は来年度にも引き続き反映させていく予定です。来年度の幸浦の丘ワークショップにもぜひご参加ください！



今年度までの成果と今後のワークショップ

ワークショップのこれからについて

現状

地域の人と大学が協力してワークショップのなかで一つのイベントとして成功させた。現在運営側としての参加者は自治会内の大人がほとんどである。

しかし地域にいつまでも大学が関わり続けることは難しい

これから

小さいころから親しむ、一定の年齢になると自分が運営側に回る防潮堤をもととした、地域の若者が自然と参加するコミュニティ型作り

今年度までの成果と今後のワークショップ

来年度の方針

祭りのように防潮堤利活用の考えが地域に自然に根付くには？

祭り化

- ・毎年繰り返し行われる
- ・習慣としてねづく
- ・子どもが自然に参加できる

地域コミュニティの強化と次世代の育成に繋がる

今年度までの成果と今後のワークショップ



ご意見ご感想等お聞かせください。また、WSへの参加を希望される方はご連絡ください。

袋井市建設課維持係 TEL:0538-44-3163 FAX:0538-42-3367